

審査資料 ボーリング柱状図記事欄に係る指摘への対応

＜審査会合＞	＜当社からの説明＞	＜原子力規制委員会の指摘＞
2020年2月7日	前年8月の審査会合での要請を受け、 K断層と2号機原子炉建屋直下にある破碎帯との連続性 について、 本編資料 を用いて説明（データ拡充した顕微鏡観察結果を含む）	・説明もなく審査資料の柱状図資料の記載が変更されている。 ・柱状図資料の肉眼観察の結果を変更・削除することは問題。 ・柱状図資料はボーリングコアの肉眼観察の結果を記録しておくもの。 ・他にもこのような取扱いがないか点検すること。 ・この資料のままでは審査を進めることができない。
2020年2月14日、6月4日、10月30	・調査会社報告書から申請書・審査資料での記載の変更点を詳細に提示 ・調査会社において作成されていた「コア観察カード」等の元データを提示 ・原因を深掘りするために設置した社内分析チームでの検討結果（主な原因）を説明	・元データが提示されたこと等から、審査を継続する。 ・原因分析の妥当性等について、審査とは別に、原子力規制検査の中で今後確認していく。

審査会合(12) ボーリング柱状図資料（例：H24-D1-1孔）

標尺	高さ	深度	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	記事
m	m	m	図				(%)	(cm)	(%)	(%)	(cm)	
				花崗斑岩	にぶい橙		100	3	0			
					明黄褐		100	2	0			
					明褐灰		100	1	0			
					明褐灰		100	1	0			
					明褐灰		100	2	0			
					明褐灰		100	2	0			
					明褐灰		100	5	0			
					明褐灰		100	4	0			
					明褐灰		100	2	0			

偏光顕微鏡



ボーリングコアの写真



審査会合2018年11月30日の柱状図資料
コアの肉眼観察の結果に基づく評価を記載※1

- ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。
- ・明赤灰色の**未固結粘土状部**：累計幅1.5cm



審査会合2020年2月7日の柱状図資料
コアの薄片試料の顕微鏡による観察結果に基づく評価を記載※2（従前の肉眼観察による評価の記載を削除し、顕微鏡による評価のみを記載）

- ・明褐灰色の固結礫状部及び明赤灰色の**固結粘土状部**からなる。

※1：肉眼観察により、破碎部の物質の種類、硬い/軟らかい等に基づき評価

※2：顕微鏡観察により、粘土鉱物の多い/少ない、鉱物片の状態等に基づき評価

